

陸上競技部 安全対策表

以下の表は、各項目に対する安全対策および事故発生時の対応をまとめたものである。本クラブ所属部員は、必ず安全対策を実施し、事故等が発生しないように注意する。また、万一、事故が発生した場合には、表に示されたように正しい対応をしなければならない。

項目	安全対策	事故発生時の対応
緊急連絡体制の管理	① 緊急連絡網を作成し、練習中及び試合などにおいて必ず所定の位置に配置するか、または顧問教員及び部長又はマネージャーが持参すること。	顧問教員及びクラブ部員は、事故発生時においてケガ人の処置をした後、緊急連絡先に連絡すること。 学生係 055-926-5734 保健室 055-926-5729
部員の健康管理	① 練習前に必ず自分の体調を把握し、体調の思わしくない時は、活動を行わないようにする。 ② 練習中において急に体調が悪くなる場合があるので、必ず複数で練習し、常に相互に確認すること。とくに、熱中症には注意し、短い間隔で給水呼びかけること。 ③ 練習が終了して、練習場所を出る時も必ず複数で行動すること。練習場所に一人が残ることがないようにする。また、帰宅時なるべく複数で行動すること。	人命第一を考え、状況を的確に判断、救急車の手配をする。また、直ちに顧問教員あるいは看護師（又は学生係）に連絡をする。 学生係 055-926-5734 保健室 055-926-5729
練習中における安全管理	①練習前にグラウンド整備をし、走路の安全を確保すること。 ②事前にストレッチ・準備運動をして、ケガの予防に努めること。 ③道具の破損がないか確認すること。 ④他の部活動と場所を共有するため、お互い練習手順など話し合い、接触事故などがないようにすること。 ⑤あらかじめ走る際、投げる際に声をかけ、互いの安全を確保すること。 ⑥夏季は熱中症が心配されるため、休憩時には日陰に入り、こまめに水分補給をすること。また、互いに健康状態に注意すること。	状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。 ・顧問教員： 渡 邊 志 保 美 055-926-5771 山 崎 悟 史 055-926-5710 金 顯 凡 055-9265786

項目	安全対策	事故発生時の対応
試合における安全管理	① 試合前に救急箱の中をチェックし、必要なものがそろっているか点検すること。 ② 試合会場への移動は、必ず公共交通機関を使用して行うこと。また、事情により顧問教員が引率できない場合は責任者を決め、万が一の時には顧問教員と連絡が取れる体制を取れるようにしておく。 ③ 試合は、特別な場合を除き顧問教員の付き添いなしに行ってはいけない。	必要なものがない場合は必ず補充する。 試合会場への移動計画をあらかじめ顧問教員へ連絡し、万が一の場合の対応について確認しておく。
練習場所等の施設の安全管理	① 練習前に使用する施設と場所の安全確認を行う ② 使用する道具の破損等がないことを確認する ③ 他の部活動と場所の使い方について互いに連絡し合い、接触事故が起きないように安全確保に努める ④ スタート時、投擲時などには声をかけ、周囲に知らせる ⑤ 投擲は他人がいるところでは行わない ⑥ 走路を横切る際には、走者がいないか注意する ⑦ 部員が一堂に集まることを避け、集合時間をブロックごとに分けるなどする。 ⑧ ベンチに戻ったらマスクをする。	状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。 ・顧問教員： 渡邊志保美 055-926-5771 山崎悟史 055-926-5710 金顯凡 055-9265786
外部（応援者を含む）の安全対策 * 対応クラブのみ	① 大会会場で、必要ならテントを持参する。日陰に入る、こまめに水分補給をするなど、熱中症対策をする。 ② コロナ対策として協会のガイドラインに従って大会に参加する。 ・ 2週間前から健康観察を記録する。それを基に大会主催者に健康調査一覧を提出する。保護者の同意書が必要な大会には部員から同意書を集め顧問が大会後2週間預かる。 ・ 会場内の決められた区画内で活動する。各所に設置しているアルコールで手指を消毒する。	状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。 大会本部に知らせ、応急処置をしてもらい、指示を仰ぐ。
その他	① 部長及びマネージャーは、クラブ活動日程・練習内容を事前に顧問教員に連絡すること。 ② 事故時には全員で応急体制に当たること。 ③ 部員及びマネージャーは、講習に参加し救命救急法に関する知識を身につけておくこと。 ④ 事故時の連絡体制のため、学生の緊急連絡先を常備しておくこと。	

陸上競技部 安全点検リスト

一般的事項

- ・ 救急箱は用意してあるか ・ 緊急連絡網は用意してあるか
- ・ 部員の体調を確認したか ・ 準備運動はしっかりと行われたか
- ・ 活動をするのにふさわしい服装をしているか
- ・ 周囲の部活動が同時時間帯に活動している際に安全確保をしているか
- ・ コースを走る際や投擲物を投げる際には、十分な場の安全を確保しているか
- ・ スタートする際や投げる際には周囲に声をかけ知らせているか
- ・ 互いに場の安全や体調管理に気を配っているか

施設・用具関係

- ・ 練習前に使用する施設の安全確認を行ったか
- ・ 練習場所はしっかりと整備された状態で練習を開始できるか
- ・ 使用する道具の破損等がないことを確認したか
- ・ 他の部活動と場所の使い方について互いに連絡し合っているか

施設、道具類に破損等がある場合には使用を禁止し、それに関わる練習を行わない。

また、顧問教員に報告するとともに、施設に関しては、学生係にも連絡すること。

緊急連絡先

- ・ 顧問教員：
渡邊志保美 055-926-5771、
山崎悟史 055-926-5710
金顯凡 055-9265786
- ・ 学生係 : 055-926-5734 (内線 2733, 5734)
- ・ 保健室 : 055-926-5729 (内線 5729)
- ・ 学生主事 :
- ・ 守衛所 : 055-926-5714

1. 共通の対策

- 活動前に検温を行い、発熱がある場合（体温が 37.5℃以上である場合、または平熱より 1℃以上高い場合）は活動に参加できない。発熱がなくても咳など風邪の様な症状がある場合、倦怠感がある場合、息苦しさなどがある場合、嗅覚異常など身体に異常を感じる場合、その他少しでも体調が優れないときも活動に参加できない。
- 熱中症の心配のない活動や運動を伴わない活動においては、活動時にマスクを着用する。マスクを着用しない場合は、近距離での会話を控える（近距離での大声は徹底的に避ける）。
- 石けんを用いた手洗いやアルコール等の消毒用品を使用して、手指消毒を行う。
- 人との間隔をできるだけ 2 m (最低 1 m) 空けるように努める。
- 使用する用具等については使用前に消毒を行うとともに、不必要な使い回しをしない。
- マスク、タオル、給水ボトル（飲料）などは自分専用のもを用意し、共用しない。
- 体育館など屋内で実施する活動については、その場所のドアを広く開け、こまめな換気を行う。ドアノブなど、学生が頻繁に触れる箇所は担当者を決め、定期的に消毒を行う。
- 部室や倉庫はなるべく短時間の利用とする。部室が活動場所となるクラブ・同好会は、人数に応じて教室の使用なども検討する。

2. 個別の活動内容にあわせた対策

- **活動しているとき以外はマスクを付ける。**
- **密にならないよう同時間帯に全ブロック集まらない。**
- **唾を吐かない。**
- **練習後は速やかに解散する。**
- **大会に参加をする際は陸連の規定に従い、2週間前から健康チェック表を記入し、当日持参する。**

_____部 安全点検リスト

一般的事項

- 救急箱は用意してあるか
- 緊急連絡網は用意してあるか
- 部員の体調を確認したか
- 準備運動はしっかりと行われたか
- 活動をするのにふさわしい服装をしているか
-
-
-

施設・用具関係

- 練習前に使用する施設の安全確認を行ったか
- 練習場所はしっかりと整備された状態で練習を開始できるか
- 使用する道具の破損等がないことを確認したか
-
-
-

緊急連絡先

- ・ 顧問教員 :
- ・ 学生係 : 055-926-5734
- ・ 保健室 : 055-926-5729
- ・ 学生主事 : 055-926-5768

- ・ 施設、道具類に破損等がある場合には、顧問教員に報告するとともに、その使用を禁止し、それに関わる練習を行わない。また、施設に関しては、学生係にも連絡すること。